

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	豊かな心の育成事業			事業番号	038-046
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.2		

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン			
3	事業開始年度	平成 27 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■堺市立全小中学校 ■指定校2小中学校 ※指定校は年度ごとに指定する。	対象数	単位	
			135	校	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実に図るとともに、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連づけた道徳教育を推進する。 ■小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた継続性のある道徳教育を実施することで、将来に夢をもち、郷土を愛する心を育む。 			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>指定校においては、以下の内容に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 道徳教育及び「道徳科」の授業づくりや評価の充実にに向けた研究及び実践 (2) 全市に向けた公開授業研究会の開催 (3) 地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をしたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進 (4) 各小中学校において本市独自の道徳教材集「未来をひらく」を活用し、道徳科授業の充実に図る 			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	講師謝礼金			
10	公民連携・協働事業	—			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度
	全国学力・学習状況調査質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
		目標値	小86 中78	小87 中81	小88 中84	小90 中90
		実績値	小78.5 中75.4	小82.9 中78.6		
	達成率	小91.2% 中96.6%	小95.3% 中97%			
	当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■令和7年度90%に向けて段階的に目標値を達成するために、令和5年度の目標値を設定した。 ■「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。 				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	CBTによる堺市学習・生活状況調査において「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		目標値	小90 中90	小90 中90	小90 中90	
		実績値	小85 中94	小90.7 中92.3		
	達成率	小94.4% 中104.4%	小100.8% 中102.6%			
	当該指標を選定した理由	■豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■令和4年度は小学校・中学校ともに目標値を上回ったが、高い目標値のため、現状維持とした。 ■「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。 				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	豊かな心の育成事業	事業番号	038-046
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	511	1,668	444	1,737
13 財源内訳		511	1,668	444	1,737
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源					
14 人件費 (b)	4,100	4,100	4,100	4,100	4,050
15 年間経費(c)=(a)+(b)	4,100	4,611	5,768	4,544	5,787

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	R4 決算	115	0	研修会場使用料	R4	決算	60	0
					R5	予算	115	0
	R4	決算	8		0			
	R5	予算	464		0			
	出張旅費	R4	決算	166	0			
		R5	予算	280	0			
	道徳教育推進指定校消耗品	R4	決算	95	0			
		R5	予算	210	0			
	印刷製本費	R4	決算	0	0			
		R5	予算	24	0			
	通信運搬費	R4	決算					
		R5	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 豊かな心の育成事業 実施校	校	135	135
② 上記①にかかる年間経費	千円	4,611	4,544
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	34,156	33,659
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18
- 「豊かな心の育成事業指定校」の2校では、それぞれの地域の実態、課題を踏まえ、道徳教育の充実に係る取組を行い、ホームページや教育課程説明会等で周知を図ることができた。
 - 第6回堺市道徳教育研究大会では、新型コロナウイルス感染症感染拡大対策を図りながら参集型で大阪府内の小中学校に参加を呼び掛けた。開催直前の感染拡大により当日は約100名の参加となったが、全市に向けた取組の発信を組織的に行うことができた。
 - 道徳科を要として学校全体で組織的に道徳教育を推進したことにより、活動指標において、高い達成率を得ることができた。成果指標においては昨年度よりも高い達成率を得られたが、目標達成には至らなかった。今後、成果指標においても目標を達成すべく取組の充実に努める。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19
- 各校における「特別の教科 道徳」の充実に図り、また家庭・地域と連携しながら、学校活動全体を通して子どもの豊かな心を育む道徳教育を推進した。堺市基本計画2025のKPIである「自分にはよいところがある」「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合は、小中学校ともに高い水準を維持している。
 - 今後、児童生徒の心の育成や道徳教育のさらなる充実に向けて、小中9年間を見通した道徳教育を推進する必要がある。